

合羽橋の老舗料理道具店「釜浅商店」  
パリ・デザインウィーク初参加のご案内  
<9月9日（月）～15日（日）>

100年以上の歴史を誇る浅草合羽橋の老舗料理道具店「釜浅商店」は、フランス パリで開催されるパリ・デザインウィーク2013 (Paris Design Week, <http://www.parisdesignweek.fr>) に初参加いたします。パリ・デザインウィークは、パリで開催される世界最高峰のインテリア&デザイン見本市「メゾン・エ・オブジェ9月展」の関連イベントとして、サンジェルマン・デプレ界隈を中心に様々なショップが参加する昨年始まったばかりの注目のデザインイベント。トレードショーではなく、誰でも気軽に訪れることのできるオープンスタイルのイベントです。

「釜浅商店」は、食をテーマとして様々なジャンルの創る人や考える人をつなぐプラットフォームとして今年3月に本格スタートしたウェブマガジン「食会 (Shoku-e)」 (<http://shoku-e.com>) とのコラボレーションでの参加となります。このウェブマガジンでは、釜浅商店の掲げる「良理道具 ～良い道具には良い理 (ことわり) がある～」の考えを世界に伝えるべく、連載コラム「マリナの合羽ランド」 (<http://shoku-e.com/marina-loeil-franais/>) にて釜浅商店・庖丁コンサルタントのマリナ・メニニが、エキサイティングな合羽橋の日々や職人との出会いで感じたこと等を寄稿しています。

今回「食会」の世界が三次元で表現される会場は、サンジェルマン・デプレ界隈に今年4月にオープンした注目のインテリアショールーム「10 SUR DIX」。釜浅商店は、日本の職人によって丹精こめて作られた庖丁の数々を展示し、マリナ・メニニによる庖丁のプレゼンテーションや研ぎの実演を開催します。期間中は4代目社長の熊澤大介も現地に滞在いたします。

最近では、世界各国の料理人の方々が、日本の庖丁を求めに合羽橋「釜浅商店」までわざわざお越しくださる機会が急増しており、今こそ、「日本の道具の素晴らしさ」を世界へ発信する時機と感じています。初めて日本を飛び出し、食の都フランスに出現する「釜浅商店」にぜひお立ち寄りください。



【開催概要】

■ 日 時：9月9日（月）～15日（日）10:00～19:00

<カクテルパーティ 9月9日（月）18:00～22:00>

初日の9月9日（月）は、パリ・デザインウィークに参加するサンジェルマン・デプレ界隈のショップすべてが参加するイブニングパーティ・デー。それに合わせカクテルパーティを開催しますので、お気軽にご参加ください。

■ 場 所：インテリアショールーム「10 SUR DIX」 (10 rue Cassette 75006 Paris)  
<http://www.10surdix.com/>

※メトロ4番線 Saint-Sulpice駅より徒歩3分。

HOTEL de L'Abbaye (ホテル・ドゥ・ラベイ) の隣です。

■ イベント期間中の連絡先：kamaasashoten@gmail.com (プレス担当：出口)

ご来場・ご取材予定の方は、事前に広報担当 出口 (harudeguchi@gmail.com) までお名前と人数をご連絡いただけましたら幸いです。皆さまのお越しをお待ち申し上げます。